

## 1 学校の状況と地域の実態

- (1) 校内の重点研究を中心に教員の指導力向上に努めている。本校では、平成24年度から27年度までの4年間、国語科を中心にして研究を進めてきた。そこで培った言語活動の研究の成果を生かしながら、平成28年度より、算数科を中心として研究を行っている。
- (2) 経験の浅い教員が多く、基礎的な指導技術をより一層高める必要がある。
- (3) 特別な教育的支援が必要な子どもへの対応を丁寧に行ってきた。療育センターあおぼと連携したり、特別支援教育について校内研修を行ったりして、児童理解を深め、効果的な指導を目指したい。
- (4) 高学年では知識先行の児童が多い実態を踏まえ、学習指導を工夫する必要がある。
- (5) 地域の教育力を積極的に取り入れ、授業の質を向上させたり豊かな心情を育てたりする努力をしている。

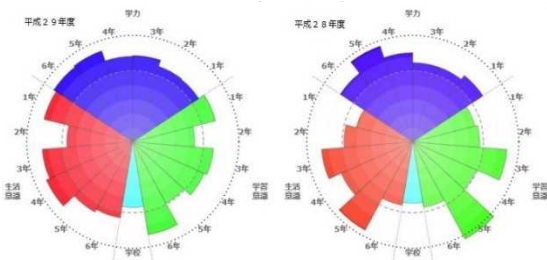
## 2 今後3年間の方向（中期学校経営方針）

### 学力向上に関する指導の目標・方針（平成30年度末の姿）

- 言語活動と体験活動を基盤とした教育を推進し、学びの過程の中で判断力、思考力、表現力の育成が図られ、全ての学年において市学力学習状況調査の標準化得点が市の平均を上回っています。
- 特別な教育的支援が必要な子どもの在籍する学級において、安定した授業ができる指導技術を教師が身に付けています。
- メンターチームや学年研究会を充実させたり、教育委員会の研修への参加を推奨したりし、授業力向上に努めています。

## 3 横浜市学力学習状況調査等からの平成29年度の実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析



全学年を通して、横浜市の平均を上回る学力を示している。また、平成28年度からの変化を見ても、上昇傾向を示す学年が多い。校内重点研究を中心に取り組んできた成果が表れてきていると考える。

学習意識、生活意識については、大きな変化は見られない。意欲を高めるための取組を、今後も継続して行っていきたい。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科：言語に関する知識や文書を理解する力は身につけている。自分の考えを文章に書き表すことにやや課題が見られる。
- 算数科：知識・理解が大変よい。技能や数学的な考え方もよい力を身につけている。
- 社会科：必要な情報を資料から読み取るなど資料活用の力が高い。知識・理解もよい結果が出ている。
- 理科：思考力を働かせ、事物・現象の性質や働き、規則性を正しく捉えている実態が見られる。

### 3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

全体的には、横浜市の平均を上回る学力である。全体的に学習意欲、生活意識も高いが、全ての児童の意欲が高いわけではない。児童一人ひとりの意欲を高めることによって、より学校全体の意欲の向上を狙いたい。

また、全体的に塾通いをする児童が多く、受動的な学習をする児童が見受けられる。能動的な学習につなげるためにも、家庭と連携して、学習習慣や生活習慣の定着を図っていくようにしたい。

## 4 平成30年度 目標と具体的方策

平成30年度 目標

**身に付けたい力を明確にした数学的活動の充実**

### 学校組織としての取組

#### ○ 言語活動の充実

学習指導の中で言語活動（説明、報告、記録、対話、討論など）を充実させることで、PISA型読解力（問題解決に向けて、テキスト〔教材文、操作活動、資料、観察・実験など〕から情報を得て、思考し、表現する）の育成を図る。

#### ○ 児童の興味・関心を高める指導の充実

PISA型読解力の充実を通して、興味・関心をもって主体的に学習に取り組む児童の育成を図るために、問題解決の過程を重視する。

#### ○ 学習を日常生活と関連させる工夫

日常生活から問題を見出すようにしたり、学習したことをもとに日常生活を見つめたりすることを意識的に行い、学校での学びが生活に役立つ実感をもつことができるようにする。

#### ○ 関連化を図った授業の充実

教科の特性や系統性を重視し、各教科、特別活動、横浜の時間等との関連化を図る。

#### ○ 見通しをもった授業展開

学年研究会で教材研究を充実させるとともに、週案に基づく見通しをもった計画的な授業を展開する。

#### ○ 基礎学力の向上

「読み書き計算」等の反復練習が必要な学習について、授業時間や家庭学習を通して計画的に習熟が図れるようにする。

#### ○ 特別支援教育の充実

隣接する療育センターあおぼと連携し、コンサルテーションを積極的に活用したり、情報交換会を年1回以上開催したりして発達障害等にかかわる理解と指導技術の習得に努める。

#### ○ 学力向上アクションプランの検証と授業評価、及び学校評価

- ・学校関係者評価(11月～12月)
- ・学校運営協議会(年4回)
- ・保護者・児童アンケート(1月)
- ・重点研究の年度末振り返り